

科目名	回復促進援助技術 I				
担当講師名	今松 裕子	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	竹花 諒	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	野辺地 裕子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年後期
講義の概要	さまざまな健康状態にある対象の回復を促進するための基本的看護技術を理論的裏づけに基づいて実践できる能力を養う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって最良の休息である睡眠の生理を理解し、睡眠への援助方法を理解できる ・体温・循環調節の手段としての罨法の意義と方法を理解できる ・検査における看護師の役割と方法を理解できる 				
講義回数	講義内容				
1・2	1. 睡眠・覚醒の援助 1) からだのリズムと睡眠 2) 睡眠のメカニズムと睡眠・休息に関するアセスメント 3) 睡眠を妨げる要因と睡眠への援助				講義
3・4	2. 体温管理・保温の援助 1) 罨法の基礎知識 2) 罨法の方法：氷枕、湯たんぽ				講義・演習
5・6	3. 診療に伴う看護技術 1) 検査場面に伴う看護師の役割と介助 2) 検体検査：血液検査、尿検査、便検査、喀痰検査 検体の取り扱い 3) 生体検査：X線検査、CT、MRI 放射線被爆防止策 内視鏡検査、超音波検査、心電図、脳波 4) 生体情報のモニタリング 5) 呼吸・循環を整える技術の基礎：酸素、吸引、人工呼吸療法 *排痰ケアは成人看護学（呼吸器看護）で教授				講義・演習
7～15	6) 診療に伴う看護技術の実際 血糖測定の方法、心電図（12誘導） 酸素療法の方法（中央配管、ボンベ） 口腔・鼻腔吸引 静脈血採血（真空管採血） *回復促進援助後術Ⅱ注射法教授後				講義・演習
教科書等	「基礎看護技術Ⅱ」医学書院 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題レポート、筆記試験等により総合的に評価する				
履修上の留意点					
特記事項					